

# 平成25年度 社会福祉法人 足利むつみ会事業報告

## (1) 第一種社会福祉事業

### (イ) 特別養護老人ホーム 青空

## (2) 第二種社会福祉事業

### (イ) 障害福祉サービス事業

#### 1) 社会就労センターきたざと（生活介護事業・就労継続支援事業B型）

##### 1、基本方針に対する評価

社会就労センターの基本機能である「一般就労が困難な障害者に一定の支援のもとに就労の機会を提供する。」を主目標とし、安心して地域で暮らすことが出来るよう今年度も継続的な就労の機会を提供してきました。また、各々の利用者の要望などを基に個々の能力や適性に応じた個別支援計画を作成し、モニタリングを行ないながら利用者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行いました。

生活介護事業では、一人一人に合わせて日常生活上の支援や生産活動の機会等を提供し、一日を通して作業を継続することが難しい方への作業支援についても繰り返し検討していきました。作業を行うことを前提とした上で、作業以外にも安心して過ごせるよう、一人一人のプログラムを提供していき日常生活支援を行いました。

また、下請け作業の他に、「環境整備事業部」の設立を行い、樹木伐採、剪定、除草などの新たな分野での作業開拓を行っていきました。

就労継続支援事業B型では、下請け作業を始めとしてエコリサイクル事業・施設外就労に力を入れて取り組んできました。特にエコリサイクル事業では、「優先調達推進法」の施行を受け、官公需、学校関係の細断作業が増えてきています。来年度から古紙細断以外に、メディア細断への受注も受ける事ができ、細断業務の幅も少しずつ広がって来ています。そのため、様々な分野での新たな受注先の確保を行うとともに、職員間で作業の検討を行い、さらなる事業拡大を目指して取り組んでいきたいと思っております。

##### (1) 個別支援計画

各々の利用者の希望などを基に、個々の能力や適性に応じた個別支援計画の作成を行い、利用者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行いました。

生活介護事業では、日常的に必要な生活支援を始めとし、治具等の使用を行いながら細かい作業にも入る事が出来る様、作業支援にも様々な工夫をし、作業提供を行いました。

就労継続支援事業B型では、仕事という意識を高めるため、一人一人が目標を持って作業を進めています。その日の目標数を設定していく中で、ご本人の目で分かるように提示していき、達成感を感じて頂きながら作業を進めていきました。また、施設外就労を始めとした施設の外で作業にも着目して行きながら、一人一人が意欲向上出来るよう、作業内容にも配慮していきました。

それぞれの事業において、利用者の工賃向上に努めていますが、その中でも、作業状況の変化や作業内容など様々な課題や改善点も出てきています。個別支援計画に沿った支援を行うとともに、目標達成に向けて利用者の様子を確認して行き、改善を行いながら職員一丸となって支援を行っていきたいと考えております。

## 2) セルプ絆（就労移行支援事業・就労継続支援事業B型）

### 1 基本方針に対する評価

セルプ絆の基本機能である「就職という夢を実現する支援と地域生活の安定と充実のための支援を行いました。また、一般就労が困難な障害者に一定の支援のもと、就労の機会を提供する。」を主目標とし、安心して地域で暮らすことが出来るよう、個々の目標や意向に合わせたサービスの提供を行ってきました。

事業所が立ち上がり、2年が経過したところですが、昨年度の実績と経験を踏まえながら、各事業がそれぞれに特徴のある事業展開を行ってきました。

就労移行支援事業「ジョブサポート絆」では、学習プログラムや社会生活技能訓練、ビジネスマナーなど社会生活に必要であり、且つ企業に求められる人材となるよう就労に特化した訓練を続けてきました。また、積極的に求職活動を行い、目標である就職に達した方には、より長く就労できるよう定着支援を行ってきました。来年度においては、さらに多くの就職者数を達成できるよう取り組むのと同時に、集客に向けた取り組みも積極的に行っていきたいと思えます。

就労継続支援事業B型「peterpan」では、根付きつつある「街のパン屋さん」を目標に新商品の開発や販売戦略を検討しながら、事業を進めてきました。また、福祉施設の側面としては、利用者が自分の仕事に自信を持って働いていただけるよう、各々の担当業務に応じた支援を行ってきました。今後もより安定した運営ができるよう、また、利用者により高い工賃が支給できるよう進めていきたいと思えます。

### (1) 個別支援計画

各々の利用者やご家族の意向などを基に個々の能力や適性に合った個別支援計画を作成し、利用者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行いました。

就労移行支援事業「ジョブサポート絆」では、就職に必要な個々の課題を把握するためのチェックリストを用いて課題整理をし、必要に応じて個別のプログラムを提供するなどの支援を行いました。

就労継続支援事業B型「peterpan」では、安定した就労をする中で、ご本人の就労意欲を向上させ達成感を味わえるよう、明確な達成イメージを持っていただける計画を作成するよう心がけ、支援者との相互連携に努めました。

## 3) セルプみなみ（生活介護事業・就労継続支援事業B型）

### 1 基本方針に対する評価

セルプみなみの基本機能である「一般就労が困難な障害者に一定の支援のもとに就労の機会を提供する」を主目標とし、安心して地域で暮らすことが出来るよう個々の目標や意向に合わせたサービスの提供を行ってきました。

生活介護事業では、利用者の心身の状況に応じて生産活動を提供していくなかで自立支援・日常生活の充実の為に支援を行ってきました。特に生産活動については、前年度を大幅に上回ることが出来たので、引き続き利用者個々に合わせた支援を行っていきたいと思えます。

就労継続支援事業B型では、雇用契約を締結しない就労や生産活動の機会を提供するとともに施設外就労を実施し、より高い工賃が支給出来るよう進めてきました。そのなかで、製品製造については積極的なイベントへの参加や、季節ごとに限

定商品の販売を行ってきました。今後も利用者により高い工賃が支給出来るよう進めていくとともに、一般就労に必要な知識、能力を高める支援を行いながら一般就労に向けた支援を行っていききたいと思います。

#### (1) 個別支援計画

各々の利用者やご家族の希望などを基に個々の能力や適性に応じた個別支援計画を作成し、利用者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行いました。

### 4) デイアクティビティセンターWIN (生活介護事業)

#### 1 基本方針に対する評価

「WIN」では、個人の感性を最大限に生かし、その人らしく活動することを大きな目的とし、個別に合わせた「日常生活上の支援・介護」「軽作業等の生産活動や創作的活動の機会の提供」「利用者主体の個別支援計画の作成、実践」を行ってきました。

「デイアクティビティセンターWIN」として2年が経過し、WINグループ・銀河グループそれぞれの特色を生かした活動・支援を行ってきました。WINグループでは食事・排泄・移動等の日常生活支援を中心としながら、創作活動や音楽活動・スヌーズレン等の活動を行いました。銀河グループではEMぼかし作りや再生紙活動等の作業的な活動及び楽器演奏・スポーツレクリエーションなどの活動を行いました。また、新年会・七夕・クリスマスパーティーなどの季節に応じた活動を行い、その中で和太鼓・大正琴などのボランティアを受け入れを行いました。さらに外出活動として日帰り旅行(大洗水族館)を行うなど利用者の皆様に楽しんでいただける活動の提供に努めました。

#### (1) 個別支援計画

WINを利用されるご本人及びそのご家族との話し合いの場を設け(個別支援会議)、平成25年度の個別支援計画等の説明等を行いました。計画は随時、モニタリングを実施し、ご本人及びそのご家族にその都度説明し、同意をいただき、次の支援へと結び付けてきました。

また、日々の活動の中で、利用者と職員の信頼関係を深め、安全で楽しく、有意義な時間を過ごせるよう、配慮してきました。

### 5) 特別養護老人ホーム 青空 (短期入所事業)

### 6) ドナルド (共同生活介護事業・共同生活援助事業)

### (ロ) 障害児通所支援事業

#### 1) ビタミンクラブ (放課後等デイサービス)

##### 1 基本方針に対する評価

知的な障害を持つ児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應することができるよう、身体及び精神の状況並びに、そのおかれている環境に応じて、その都度適切な支援及び訓練を行うことを主目標とし、サービス提供を

行ってきました。利用者の個性や人格を尊重し、1人1人のニーズに合わせ、日常生活支援、集団生活適応支援等を遊びや活動を通して行い、個々の自立に向けたきめ細かな支援を行いながら、利用者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行いました。また、より良い支援が継続して行えるよう、職員間で話し合い検討し、各種支援に繋げていきました。

#### (1) 児童発達支援計画（個別療育支援）

児童発達支援計画を作成し、利用者の個性を尊重しつつ、その持っている個性を最大限に伸ばせるように心掛けて行き、楽しさと満足感を感じながら怪我や事故等が無く、成長できるように療育支援を行ないました。また、目標達成が見られた場合は新たな目標を個別支援会議等でご家族と話し合い計画の変更等を随時行い、より良い支援が行えるように、努めてきました。

放課後等デイサービスとして事業を行い2年が経過しました。個々で過ごす利用者も多くいましたので、その都度個別に支援を行っていきました。

ア個々のニーズに合った児童発達支援計画の作成（支援実施書・個別療育プログラム）をしてきました。

イ日常生活における基本動作の習得に向けて個々に合わせた支援をしました。

ウ集団生活に適応できる様な活動等を考えて利用者に参加してもらう支援をしました。

### (ハ) 一般相談支援事業、特定相談支援事業及び障害児相談支援事業等

#### 1) 足利障害者相談支援センター（一般相談支援事業・特定相談支援事業・障害児相談支援事業）

指定特定相談支援事業実績

本プラン作成数：79件

モニタリング数：60件

（指定障害児相談支援事業におけるプラン作成・指定一般相談支援事業における地域移行支援及び地域定着支援の業務のに関する相談はありませんでした。）

市委託相談支援事業所：3法人4名の合同体制にて以下のような活動を行いました。

相談実人数：580名、相談数：4038件

- ・ 足利市地域自立支援協議会事務局として活動。
- ・ 障害福祉サービス利用の流れについての関係機関への研修会を足利市地域自立支援協議会の主催として4回実施。
- ・ 足利市地域自立支援協議会の事例検討部会に事例提出
- ・ 特別支援コーディネーターのワーキングや幼稚園・学校等に出向いて制度の説明や助言
- ・ 特別支援学校の2年次および3年次の進路相談会（福祉・就職）にて助言。
- ・ 特別支援連携協議会に出席し、特別支援教育の関係者とサポートブックの有効活用などの協議。
- ・ 足利市障がい福祉担当、こども課、健康増進課、介護保険課、いきいき長寿課、年金課、栃木県南児童相談所、とちぎリハビリテーションセンター総合相談部（高次脳支援拠点機関、ふおーゆー）、市内障害者支援施設、

介護保険施設等と連携。

- ・ 相談支援事業所連絡会にて助言・指導
- ・ 相談支援リーダー養成研修として、相談支援専門員初任者研修、現任研修のファシリテーターとして支援

## 2) 両毛圏域障害者就業・生活支援センター（障害者就業・生活支援センター事業）

就業支援担当者2名、生活支援担当者2名を配置し、以下の業務を行った。

障害者に対する相談・支援

- ・ 支援対象障害者数 566人
- ・ 相談支援件数 1340件
- ・ 就職件数 68件

事業主に対する助言

- ・ 支援対象事業所数 85事業所
- ・ 相談支援件数 732件

職場実習等のあっせん

- ・ あっせん件数 58件

主な相談支援内容

- ・ 就職先を一緒に探して欲しい。ハローワークへの同行。（就職に向け）
- ・ 仕事が覚えられない。悩みがある。事業所訪問（職場定着に向け）
- ・ 復職したいがどのように進めたらよいか分からない。（復職支援）

在職者の交流活動を以下の通り4回実施した。

- 第1回 平成25年6月23日(日) 10:00～12:00 参加者：14名
- 第2回 平成25年9月29日(日) 10:30～11:30 参加者：11名
- 第3回 平成26年1月25日(土) 10:00～11:30 参加者：14名
- 第4回 平成26年3月29日(土) 10:00～12:00 参加者：10名

## (二) その他の地域生活支援事業

### スマイル（日中一時支援事業等）

#### 1. 基本方針に対する評価

スマイルの基本方針である「障害・年齢の枠にとらわれず、幅広い視野から地域で暮らす全ての方の様々なニーズに対して、心のこもったサービスの提供」を主目標とし、サービス提供を行ってきました。児童・成人の方々が幅広く利用になり、限られた職員の中で、様々なニーズに合わせた支援やドライブ・散歩といった活動も取り入れ、普段と違った環境の中で安心して一緒に過ごして頂けるよう支援を行いました。今後もより良い支援ができるように、職員のスキルアップに努め、心のこもったサービスを提供していきたいと思っております。